

のり海況速報 第10報 (28-10)

平成29年2月8日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 2/3：内湾(ふさなみ)、内房北部(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報(2/3)、東京湾口海況図(2/3)
 自動観測ブイデータ(2/3)
 モニタリングポスト(2/3：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温は9～10℃台が広く分布し、前回(1/17)より1℃低下しています。塩分は31～32台で前回とほぼ同様、平年よりやや高めです。
- ・内房北部の表層水温は13～16℃台で前回よりも上昇し、南側には17℃台が波及しています。塩分は33～34台です(図1)。
- ・鉛直断面では、内湾の20m以浅の水温が9～10℃台で前回よりも1～2℃低下、塩分は32台です。内房北部の水温は底層まで16℃台です(図2)。
- ・沖合水が内房北部まで強く波及しているため、注意が必要です。

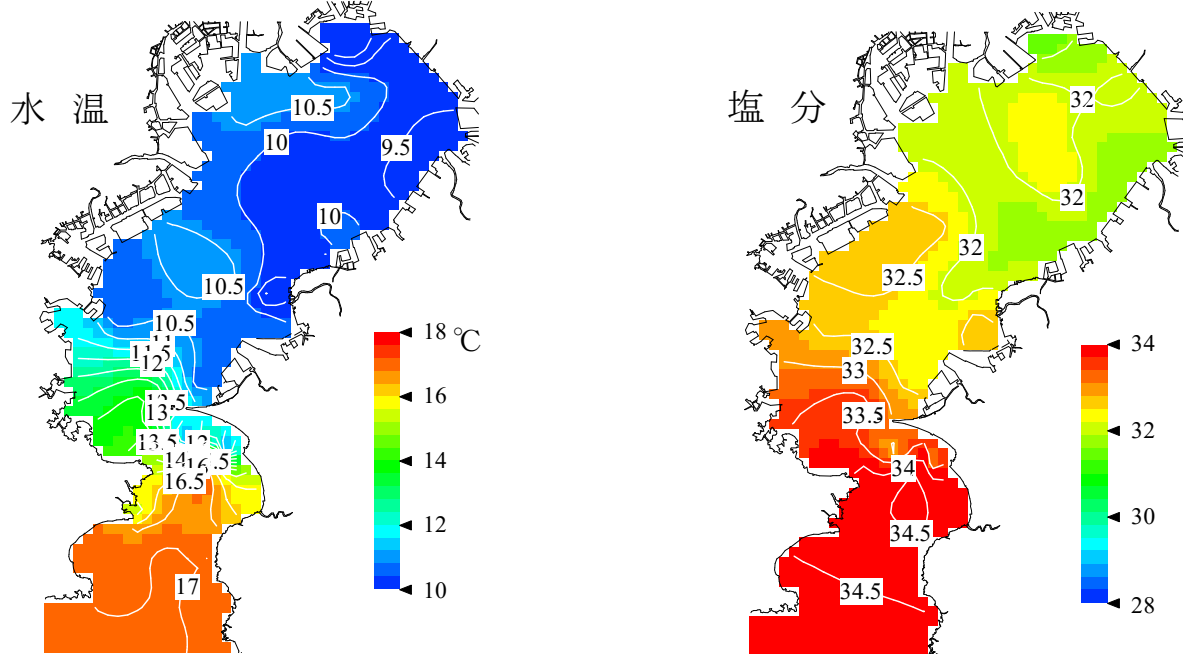


図1 表層の水温・塩分の分布(平成29年2月3日)

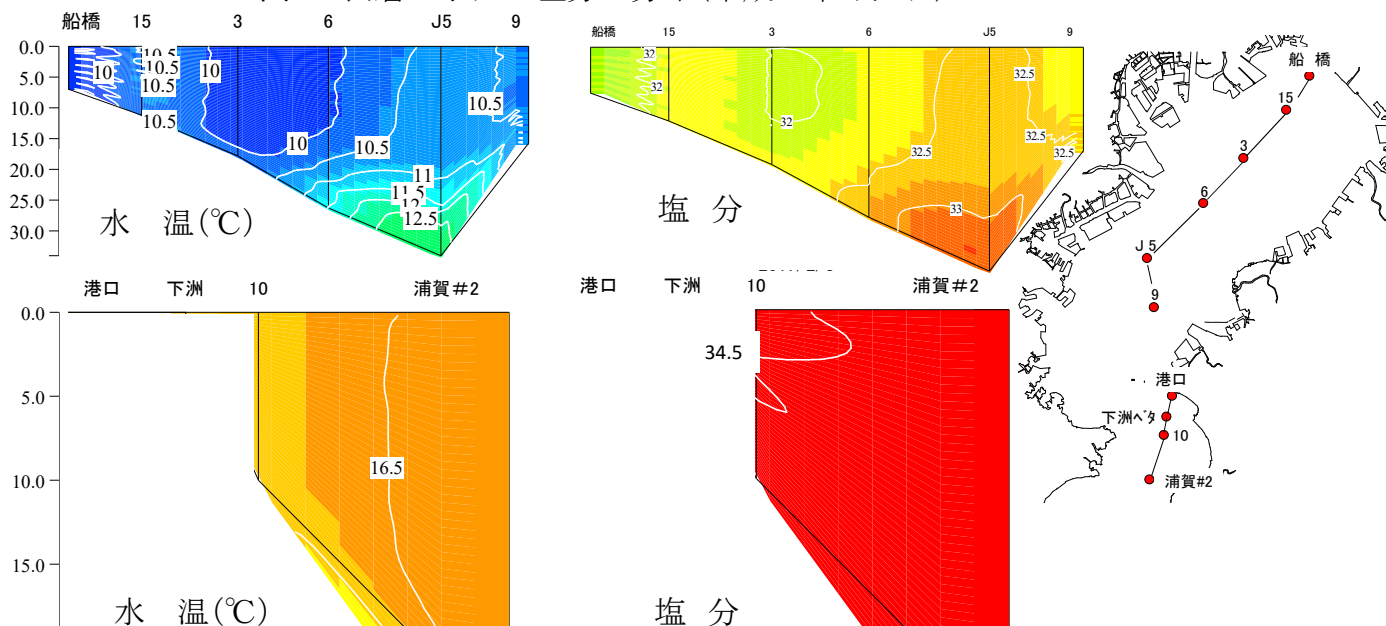


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成29年2月3日)
 (上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

- ・赤潮は全域で発生していません。
- ・出現プランクトンはほぼ小型の珪藻で、スケルトネマが前回と同様に優先し、キートケロスが増加しました。透明度はおおむね4m以上あり、水色はほぼ黄緑色でした。
- ・表層の栄養塩は、窒素(D I N)が内湾北部で $90 \mu\text{g}/\ell$ 台と低いものの、千葉から木更津沿岸は $400 \mu\text{g}/\ell$ 台で問題ありません。リン(D I P)は全般に低下し、特に内湾北部から盤洲にかけて $10 \mu\text{g}/\ell$ 以下でした(図3)。

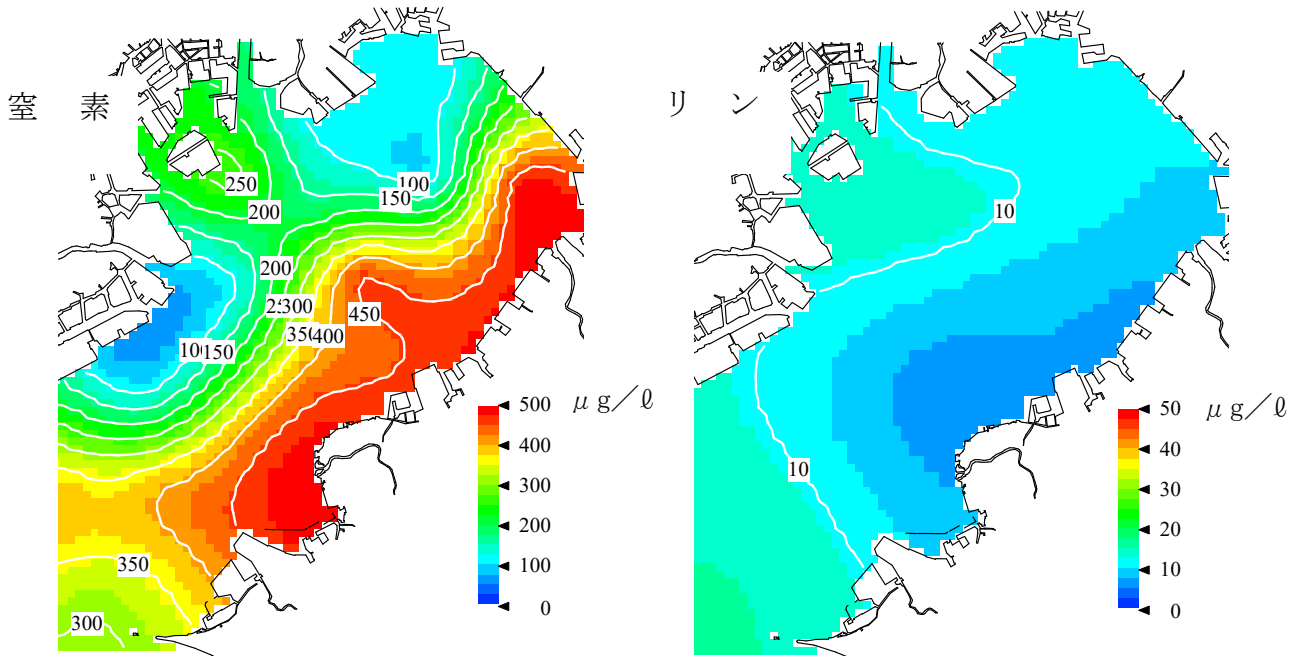


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成29年2月3日)

- ・内房の栄養塩分析は13日の海況調査で実施予定です。

川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯 : http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html